



2006年度(2007年3月期)
決算説明資料

2007年4月27日
株式会社 商船三井

目次

2006年度 決算の要点	3
2006年度 決算概要	5
連結セグメント情報	6
連結売上高・経常利益 前期比増減 要因分析	7
2007年度 業績予想の要点	8
2007年度 業績予想	9
連結セグメント別業績予想	10
[補足資料]	
連結営業外・特利損／単体運航費	12
主要コンテナ航路 消席状況	13
自動車船輸送台数	14
MOL STEP (2004～2006年度)の総括①	15
MOL STEP (2004～2006年度)の総括②	16
MOL ADVANCE (2007～2009年度) 全体利益計画	17
MOL ADVANCE (2007～2009年度) セグメント別利益計画	18

2006年度 決算の要点

➤ 旺盛な荷動きを、積極的な船隊拡大で取り込み

【運航規模】	'05年度末	'06年度末	(%はdeadweight tonベース)
不定期専用船	591隻	→ 650隻	(+59隻、+12%)
コンテナ船	94隻	→ 109隻	(+15隻、+11%)
その他船舶	43隻	→ 44隻	(+ 1隻、+ 3%)
合計	728隻	→ 803隻	(+75隻、+12%)

⇒ 再び増収増益を達成

(売上高 8期連続、経常利益 4期連続、当期純利益 5期連続)

➤ セグメント別 (隻数は期末隻数の前年度末比較)

不定期専用船事業：新造船投入、国内外で中・長期契約/スポット契約を
タイミング/バランス良く拡大、成長分野へ船種を多様化

⇒ 大幅増益。年度を通じてquarter-on-quarterベースでも増益を維持。

【ドライバルク部門】

- 市況：旺盛な荷動きを背景に、2Q以降、前年度を上回って推移

(e.g. Cape size市況 前年度比：4月～3月ベース4割up、2月～1月ベースで1割up)

- 船隊：+37隻 ← 鉄鋼原料船、ハンディマックスを中心にタイミングよく拡大

- 長期・中期・スポット契約をバランス良く拡大

⇒ 大幅増益

【油送船部門】

- 市況：VLCC・プロダクト船とも、上期up /下期down→通期down
 - 船隊：+17隻 ← プロダクト船、ケミカル船を中心にタイミングよく拡大
 - VLCCを中心にD/H化を推進し事業基盤を強化
- ⇒ 経常利益では若干の減益（当期純利益は増益 ← 売船益）

【LNG船部門】 長期契約を順調に履行、関与隻数増(+4隻) ⇒ 増益

【自動車船部門】 荷動き旺盛 → 積取り増加(+17%) ⇒ 増益

コンテナ船事業：

- 積取り：旺盛な荷動きを航路網拡大で取り込み、増加。
 - 運賃：主要航路で通期平均down。欧州・南米向けは1Qを底に反転。
 - 諸コスト（燃料油、内陸輸送費、運河通峡料等）上昇、インバランス拡大
- ⇒ 大幅減益。Quarter-on-quarterベースでは緩やかに増益傾向。

ロジスティクス事業：コンテナ船との相互補完分野で業容拡大 ⇒ 増益

フェリー・内航事業：燃料油価格高騰 ⇔ 航路再編、Surchargeで補填、荷動き増
⇒ 期初見込みを下回るも、黒字回復

関連事業：商社事業、客船事業好調 ⇒ 増益

➤ 配当予定額を上方修正

期末配当：1株当たり9円（従来予定） ⇒ 11円（今回修正）

中間9円とあわせ、通期で20円（cf. 前期18円）

2006年度 決算概要

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		通期 実績			2005年度 実績	増減		'07/2/8 通期見通し	差異
			上期実績	下期実績					
売上高	連結	15,684	7,595	8,089	13,667	+2,017	+14.8%	15,700	△16
	単体	12,440	5,983	6,457	10,932	+1,508	+13.8%	12,400	+40
営業利益	連結	1,681	730	951	1,730	△49	△2.8%	1,660	+21
	単体	1,117	475	642	1,277	△160	△12.5%	1,150	△33
経常利益	連結	1,825	785	1,040	1,765	+60	+3.4%	1,750	+75
	単体	1,290	531	759	1,319	△29	△2.2%	1,280	+10
当期純利益	連結	1,209	477	732	1,137	+72	+6.3%	1,180	+29
	単体	813	340	474	787	+26	+3.4%	800	+13

為替(期中平均)	¥117.40/\$	¥115.83/\$	¥118.98/\$	¥112.29/\$	+¥5.11/\$	¥116.94/\$	+¥0.46/\$
燃料単価(期中平均)	\$321/MT	\$339/MT	\$303/MT	\$280/MT	+\$41/MT	\$321/MT	+\$0/MT
					△11億円		+10億円
					↑ +112億円 △123億円	(為替) (燃料単価)	↑ +10億円 +0億円

為替 Sensitivity 年間(2006年度) ±22.0 億円/1¥ (最大)
 燃料単価 Sensitivity 年間(2006年度) ±3.0 億円/1\$ (最大)
 (連結経常損益ベース)

連結セグメント情報

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		通期実績	上期実績	下期実績	2005年度実績	増減		'07/2/8 通期見通し	差異
不定期専用船事業	売上高	7,870	3,746	4,124	6,763	+1,107	+16.4%	7,820	+50
	経常利益	1,636	707	929	1,353	+282	+20.9%	1,570	+66
コンテナ船事業	売上高	5,686	2,776	2,910	4,882	+804	+16.5%	5,700	△14
	経常利益	32	△10	41	375	△343	△91.6%	30	+2
ロジスティクス事業	売上高	556	275	281	637	△81	△12.7%	570	△14
	経常利益	23	7	15	21	+2	+10.0%	19	+4
フェリー・内航事業	売上高	498	258	240	468	+31	+6.6%	500	△2
	経常利益	0	3	△2	△1	+1		1	△1
関連事業	売上高	997	502	495	875	+122	+14.0%	1,020	△23
	経常利益	131	65	66	125	+6	+4.4%	124	+7
その他事業	売上高	77	38	40	43	+35	+81.2%	90	△13
	経常利益	30	17	13	26	+4	+14.2%	19	+11
消去・全社	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	経常利益	△26	△4	△22	△134	+108		△13	△13
連結	売上高	15,684	7,595	8,089	13,667	+2,017	+14.8%	15,700	△16
	経常利益	1,825	785	1,040	1,765	+60	+3.4%	1,750	+75

*「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

連結 売上高・経常利益 前年同期比増減要因分析

●売上高

(内 単体; 億円)

円安	+562億円	(+511)
積取・運賃変動	+1,046億円	(+903)
その他	+409億円	(+94)
<hr/>		
(合計)	+2,017億円	(+1,508)

●経常利益

(内 単体; 億円)

円安	+112億円	(+102)	(当期¥117.40/\$; ¥5.11/\$の円安)
燃料油価格上昇	△123億円	(△82)	(当期\$321/MT; \$41/MT上昇)
積取・運賃変動	△207億円	(△310)	
コスト削減	+155億円	(+139)	
持分法投資損益	△7億円	(0)	
その他 (消去又は全社含む)	+130億円	(+122)	
<hr/>			
(差し引き)	+60億円	(△29)	

2007年度 業績予想の要点

➤ 対前年度比較

- 新造船投入（ドライバルク24隻、油送船10隻、LNG船4隻、自動車船9隻、コンテナ船7隻）→ 旺盛な荷動きを取り込み
 - ドライバルク全船型で市況先高感が浸透 → 有利中期・短期契約を獲得
 - コンテナ船で運賃修復を実施
(欧州 = 4月～四半期毎、北米 = 5月、南米 = 7月)
- - 燃料油価格高(+ $\$9/MT$)、円高($\yen2.4/\$$)を想定。
- 徹底した安全運航対策の費用を折込み。
- ⇒ 再び増収増益で、経常利益2,000億円乗せへ

➤ 対”MOL ADVANCE”計画比較

- 為替／燃料油価格前提を調整。(¥110/\$→¥115/\$／\$300/MT→\$330/MT)
→ 差し引き +25億円の影響
 - 償却制度変更影響を折込み → 約 -20億円の影響
 - 足元のドライバルク市況を一部折込み。
- ⇒ 上方修正
経常利益+100億円(不定期専用船事業で)、当期純利益+60億円

- ### ➤ 配当：1株当たり20円を予定 (中間配当10円 + 期末配当10円)

2007年度業績予想

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		2007年度	2006年度	増減		2007年度 上期	2006年度 上期	増減	
売上高	連結	17,000	15,684	+1,316	+8.4%	8,400	7,595	+805	+10.6%
	単体	13,600	12,440	+1,160	+9.3%	6,700	5,983	+717	+12.0%
営業利益	連結	1,900	1,681	+219	+13.0%	980	730	+250	+34.3%
	単体	1,400	1,117	+283	+25.3%	740	475	+265	+55.8%
経常利益	連結	2,000	1,825	+175	+9.6%	1,040	785	+255	+32.5%
	単体	1,550	1,290	+260	+20.2%	800	531	+269	+50.6%
当期純利益	連結	1,300	1,209	+91	+7.5%	670	477	+193	+40.4%
	単体	1,000	813	+187	+22.9%	500	340	+160	+47.2%

為替(期中平均) ¥115.00/\$ ¥117.40/\$ △¥2.40/\$
 燃料単価(期中平均) \$330/MT \$321/MT +\$9/MT

△82億円



△55億円
 △27億円

為替(期中平均) ¥115.00/\$ ¥115.83/\$ △¥0.83/\$
 燃料単価(期中平均) \$330/MT \$339/MT △¥9/MT

+4億円



△19億円 × 1/2
 +27億円 × 1/2

(為替)
 (燃料単価)

為替 Sensitivity 年間(2007年度) ±23.0 億円/1¥ (最大)
 燃料単価 Sensitivity 年間(2007年度) ±3.0 億円/1\$ (最大)
 (連結経常損益ベース)

連結 セグメント別通期見通し

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		2007年度	2006年度	増減		2007年度 上期	2006年度 上期	増減	
不定期専用船事業	売上高	8,200	7,870	+330	+4.2%	4,100	3,746	+354	+9.4%
	経常利益	1,710	1,636	+74	+4.5%	880	707	+173	+24.5%
コンテナ船事業	売上高	6,500	5,686	+814	+14.3%	3,200	2,776	+424	+15.3%
	経常利益	100	32	+69	+217.5%	70	△ 10	+80	
ロジスティクス事業	売上高	660	556	+104	+18.8%	300	275	+25	+9.2%
	経常利益	25	23	+2	+10.8%	8	7	+1	+8.8%
フェリー・内航事業	売上高	530	498	+32	+6.3%	270	258	+12	+4.5%
	経常利益	15	0	+15		6	3	+3	+138.1%
関連事業	売上高	1,020	997	+23	+2.3%	500	502	△ 2	△ 0.4%
	経常利益	130	131	△ 1	△ 0.6%	64	65	△ 1	△ 0.8%
その他事業	売上高	90	77	+13	+16.6%	30	38	△ 8	△ 20.3%
	経常利益	35	30	+5	+15.7%	21	17	+4	+21.4%
消去・全社	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	経常利益	△ 15	△ 26	+11		△ 9	△ 4	△ 5	
連結	売上高	17,000	15,684	+1,316	+8.4%	8,400	7,595	+805	+10.6%
	経常利益	2,000	1,825	+175	+9.6%	1,040	785	+255	+32.5%

*「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

[補足資料]

連結営業外・特利損／単体運航費

[億円未満切捨て]

1. 連結 営業外収益・費用明細

(2006年度)

(億円)

		(単体)	
営業外収益	348	(266)	
うち:			
受取利息	36	(36)	
受取配当金	39	(167)	
持分法投資利益	161	(0)	
為替差益	16	(0)	
その他営業外収益	93	(61)	

		(単体)	
営業外費用	203	(93)	
うち:			
支払利息	182	(42)	
為替差損	0	(43)	
その他営業外費用	21	(7)	

2. 連結 特別利益・損失明細 (2006年度)

(単体)

(億円)

		(単体)	
特別利益	205	(10)	
うち:			
船舶売却益	135	(0)	
投有証・関係会社株売却益	61	(10)	
その他固定資産売却益	2	(0)	
その他特別利益	6	(0)	

		(単体)	
特別損失	51	(16)	
うち:			
船舶売却損	0	(0)	
投有証・関係会社株売却損	1	(0)	
その他固定資産除売却損	3	(1)	
投有証・関係会社株評価損	2	(2)	
減損損失	0	(0)	
その他特別損失	44	(11)	

3. 単体 運航費明細

(百万円)

	2006年度	2005年度
港費	74,424	63,128
貨物費計	209,095	184,520
内訳: 荷役費	19,357	15,377
歩金仲介料	23,602	20,833
一般貨物費	166,137	148,311
燃料費	201,523	159,537
雑費	3,807	2,468
合計	488,849	409,653

主要コンテナ船航路 消席状況

北米航路(アジア/北米)

(単位:1000TEU)

		往航						復航						
		保有		稼働		消席率		保有		稼働		消席率		
2006年度	下期	第4四半期	129	263	114	230	88%	87%	131	266	77	149	59%	56%
		第3四半期	134	547	116	492	86%	90%	135	546	72	284	53%	52%
	上期	第2四半期	150	284	142	263	95%	92%	147	280	67	134	46%	48%
		第1四半期	134		120		89%		133		67		50%	
2005年度	下期	第4四半期	126	264	112	226	89%	86%	124	264	59	116	47%	44%
		第3四半期	138	534	115	473	83%	89%	140	531	57	229	41%	43%
	上期	第2四半期	142	271	132	247	93%	91%	139	268	55	114	40%	42%
		第1四半期	129		115		89%		129		59		46%	

欧州航路(アジア/欧州)

		往航						復航						
		保有		稼働		消席率		保有		稼働		消席率		
2006年度	下期	第4四半期	109	209	107	206	98%	99%	102	202	61	117	60%	58%
		第3四半期	100	426	99	413	100%	97%	100	406	56	230	56%	57%
	上期	第2四半期	117	217	113	207	97%	95%	108	203	56	113	52%	56%
		第1四半期	100		94		94%		96		57		59%	
2005年度	下期	第4四半期	89	185	84	170	94%	92%	89	177	58	116	65%	66%
		第3四半期	96	354	86	333	90%	94%	88	346	59	233	67%	67%
	上期	第2四半期	84	169	80	163	96%	96%	84	169	58	117	69%	69%
		第1四半期	85		82		97%		85		59		69%	

全航路計

		保有		稼働		消席率		
2006年度	下期	第4四半期	957	1,914	719	1,428	75%	75%
		第3四半期	957	3,828	710	2,850	74%	74%
	上期	第2四半期	1,018	1,914	757	1,422	74%	74%
		第1四半期	896		665		74%	
2005年度	下期	第4四半期	817	1,658	601	1,202	74%	73%
		第3四半期	841	3,143	601	2,351	72%	75%
	上期	第2四半期	760	1,485	587	1,149	77%	77%
		第1四半期	726		561		77%	

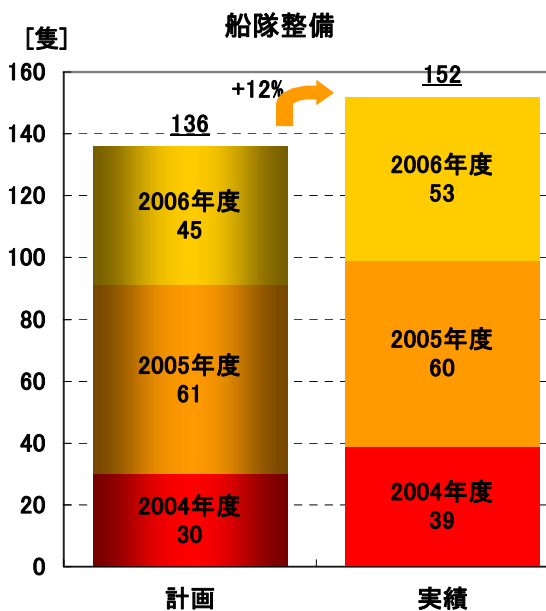
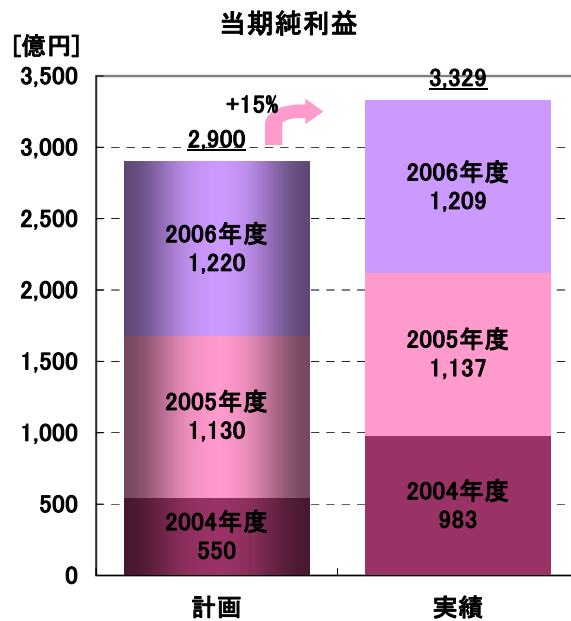
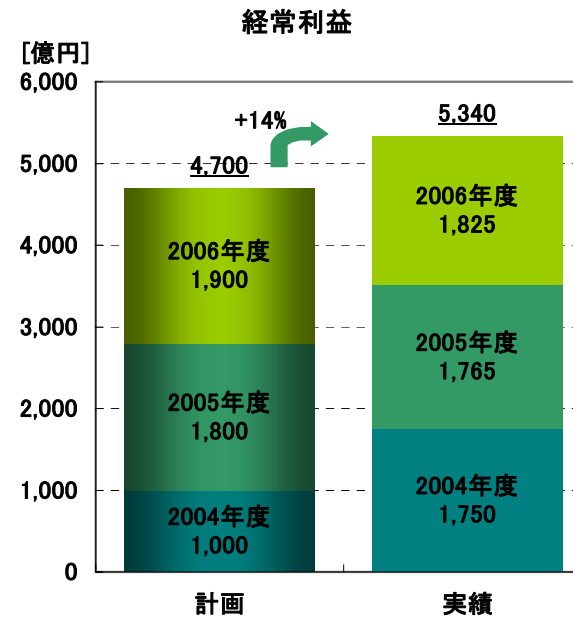
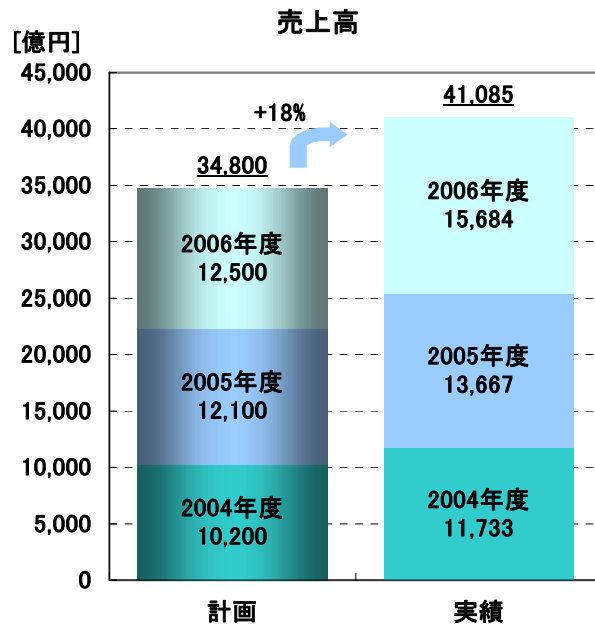
2005年10月に会計基準・コンテナ数カウント方法の変更を行ったため、その前と後の期の数値を同一基準で比較することはできない。

自動車船輸送台数

(完了ベース／航海備船を含む)	2007年度 上期見込み	2006年度			2005年度 通期(B)	増減 (A)-(B)
		上期	下期	通期(A)		
合計	1,337	1,291	1,379	2,670	2,275	+394

(1000台)

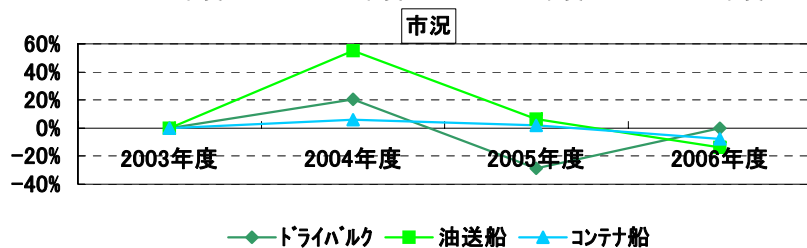
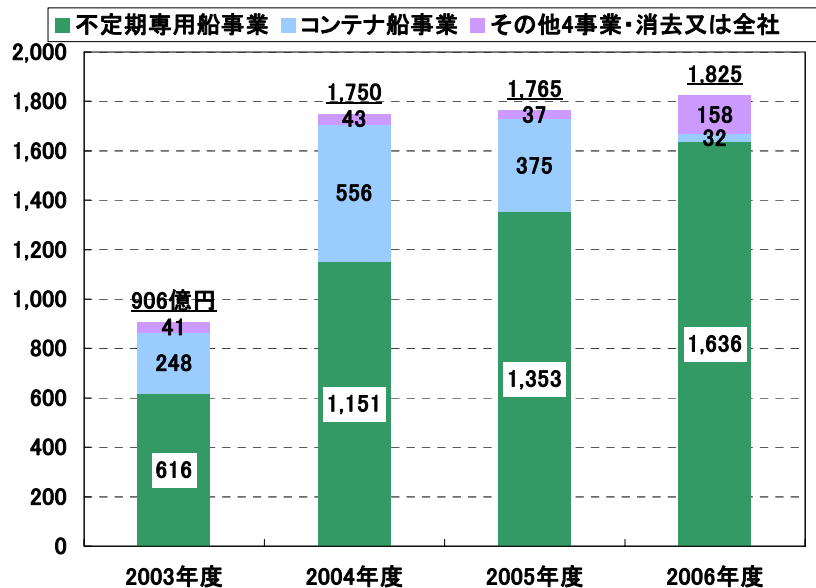
MOL STEP(2004~2006年度)の総括①



計画=MOL STEP(2004年度)、MOL STEP Review(2005~2006年度)

MOL STEP(2004~2006年度)の総括②

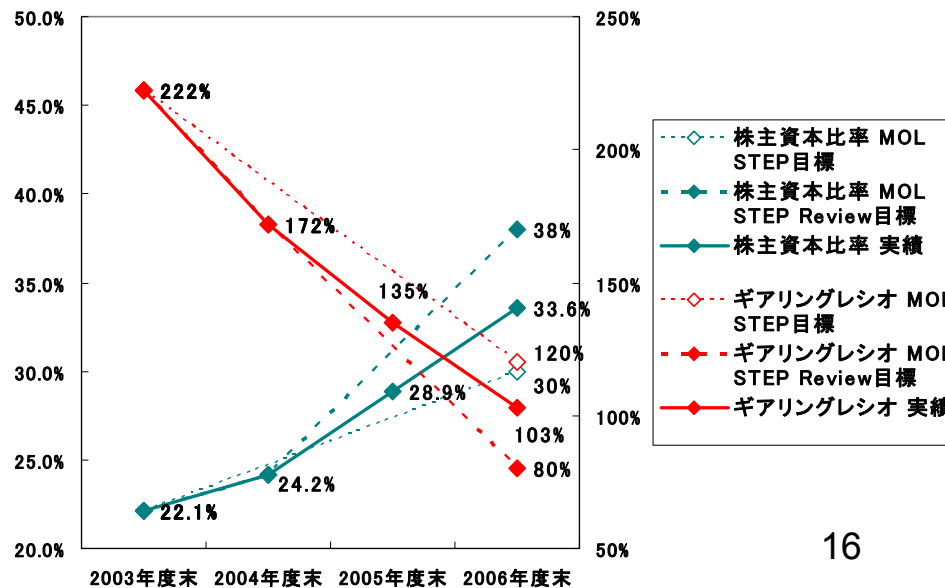
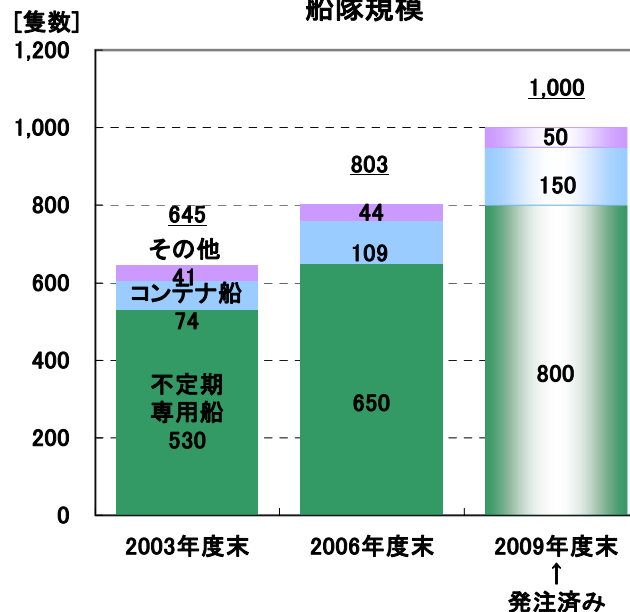
セグメント別経常利益



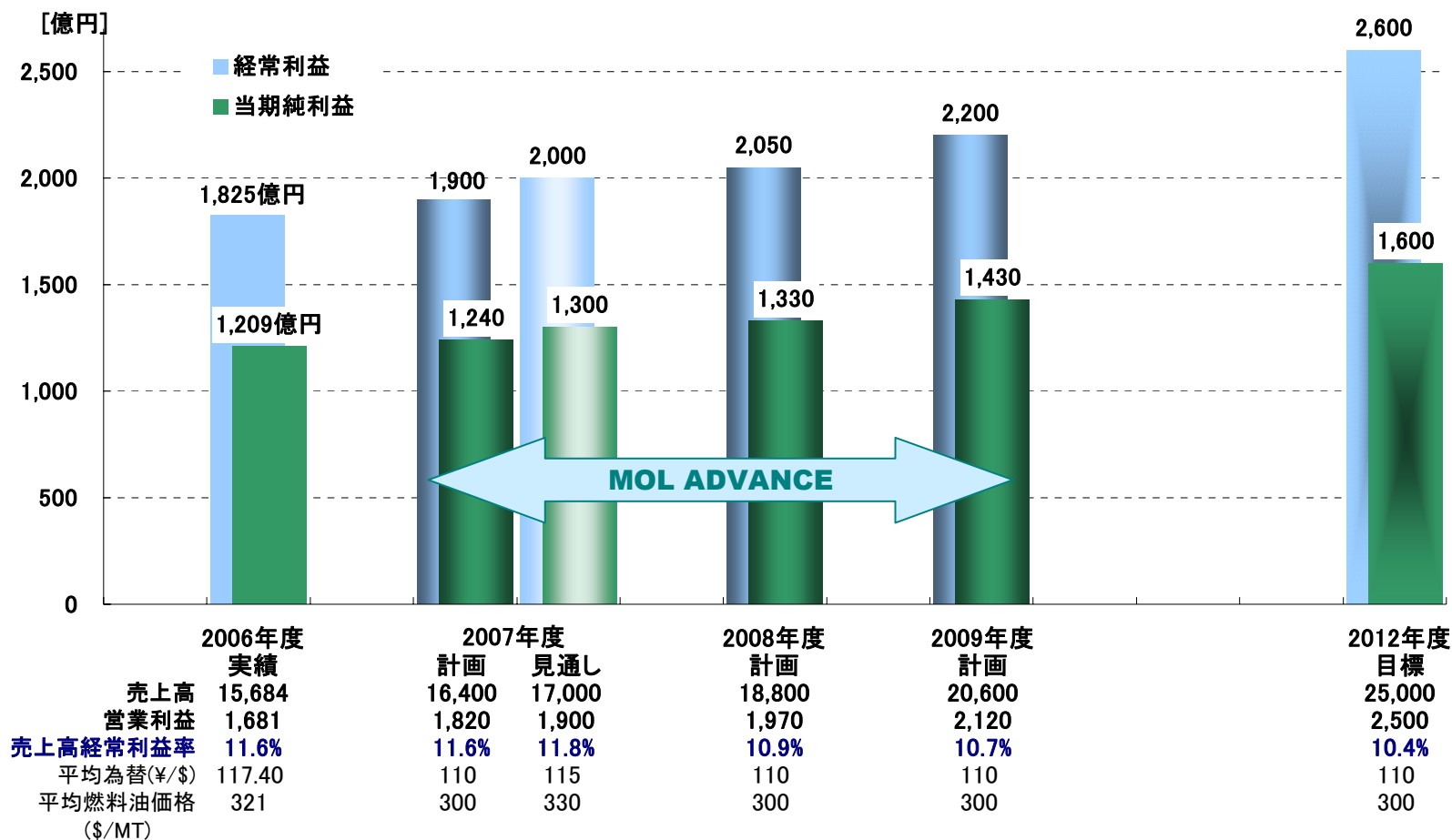
出典: ドライバルク Tramp Data Serviceケープサイズ'傭船料(太平洋ラウト)をもとに計算。

油送船 Drewry AG/アジアVLCC WSをもとに計算。
 コンテナ船 Containerization International "Freight Rates Indicators"(アジア/米国東航、アジア/欧州航路西航)をもとに計算。2007年1-3月は商船三井推定。

船隊規模



MOL ADVANCE (2007~2009年度) 全体利益計画

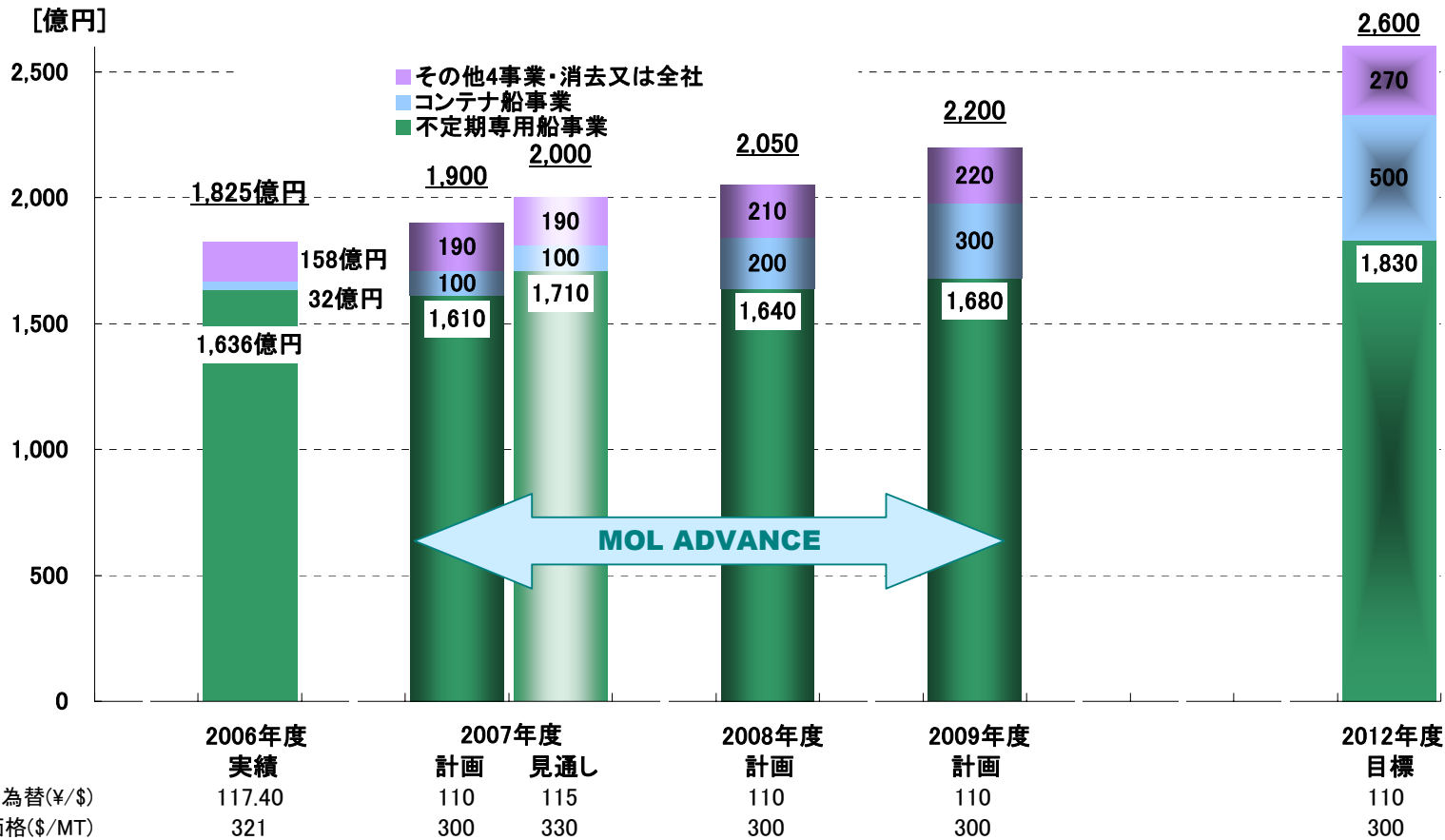


為替Sensitivity
燃料油価格Sensitivity

年間(最大) ±23億円/1¥
年間(最大) ± 3億円/1\$

(2007年度)
(2007年度)

MOL ADVANCE (2007~2009年度) セグメント別利益計画



市況前提 (2006年度*=100)

		2007年度		2008年度	2009年度	2012年度 計画
		計画	見通し	計画	計画	
ドライ バルク	(Cape)	109	117	90	90	80
	(Panamax)	97	108	81	81	90
	(Handy Max)	96	107	84	69	84
	(Small Handy)	108	119	89	73	87
油送船	(VLCC)	111	111	111	111	99

* 2006年3月~2007年2月一般市況